

進路だより

令和元年 6月26日(水)

第5号

高浜市立高浜中学校

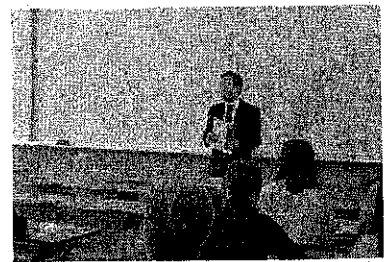
進路担当 岩月 晃

P T A 研修・教養委員会主催で行った高校見学会に、22名の保護者の方々と参加し、刈谷高等学校、安城学園高等学校、知立高等学校を見学させていただきました。この3校に進学した先輩も多く、見学の中で、授業に真剣に取り組む高校の卒業生たちの姿を見ることができました。見学会で見聞きしてきたことを、参加した保護者の方々の感想とともに紹介したいと思います。

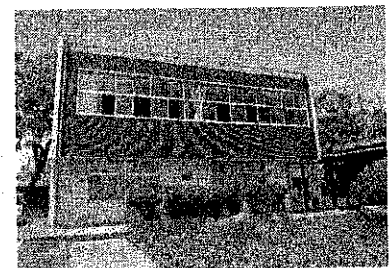
刈谷高等学校

刈谷高校は、一学年400名の普通科10クラスで、昨年創立100周年を迎えた学校です。正門は文化財に指定され、その正門前には開校当時に植えられた樹齢100年ほどになる「くすのき」が今も生えており、歴史を感じさせられます。高浜からは、刈谷市駅まで電車で行き、そこから歩いて10分ほどで通うことができます。

刈谷高校は進学校として、学習に力を入れています。SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けており、サイエンスとあるように、理系の内容に力を入れているだけでなく、グローバルリーダーの育成を目指して、課題研究の発表を代表者が英語で行ったり、オーストラリアへの海外研修の機会があったりするそうです。さらに、イギリスの名門校である、イートン校との相互訪問交流も30年続いており、SSHの指定以前から、海外との関わりを大切にしてきたことがうかがえます。



〔教頭先生からの説明〕



〔100周年記念で改修した記念館〕

また、全国大会に9回出場しているサッカー部をはじめ、ここ近年では、陸上競技や水泳、放送など様々な部活動が活躍しているようで、勉強だけでなく部活動にも力を入れています。

卒業後の進路に関しては、ほとんどの生徒が進学を目指し大学受験をします。そのうち200名ほどが、現役で国公立大に進学をしているそうですが、私立大に合格していても、さらに勉強を重ねて目標の大学に進学することを目指し、浪人をする生徒も100名ほどいると聞きました。妥協せずに目標に向かって努力し続ける姿勢は、第1希望となる大学への強い意欲の現れだと感じました。

【保護者の感想】

- ・この学校であれば間違いなく、次代を生き抜く力が、身につくだろうなと感じました。
- ・SSHという他校にはない活動が素晴らしいと思いました。英語での論文発表なども今の時代に合っていて、いいと思います。

安城学園高等学校

安城学園高校は、普通科と商業科に分かれており、普通科にはさらに、文理Ⅰコース（国公立・難関私大を目指すコース）、文理Ⅱコース、英語コース、こども教育・芸術コースの4つのコースに分かれている学校です。高浜からは、名鉄とJRを乗り継ぎ、安城駅まで電車で行き、そこから歩いて10分ほどで通うことができます。また、スクールバスもあり、高校の前から乗ることもできます。



〔校長先生からの説明〕

行事にとっても力を入れている学校で、修学旅行や体育祭などの一般的な行事だけでなく、各教科が主催するセミナー（理科でフィールドワーク、英語で海外ホームステイ、商業科でインターンシップなど）も幅広く行っているそうです。

外国人教師がおり、すべて英語で行われている授業や、音楽家・美術家としても活躍している先生が教えてくれる音楽・美術の授業が受けられるなど、学習環境にも力を入れているそうです。とても広い食堂や、作品を展示するスペース、専門的な授業ができる教室など、学校の設備も充実していて、学びたいという生徒たちの思いに応えられる環境が整っていると改めて感じました。

さらに、様々な部活動で全国大会に出場するなど、部活動にも熱心に取り組んでいます。やりたいことがはっきりとしている人にとって、充実した高校生活を送ることができる学校だと思いました。

【保護者の感想】

- ・部活動が盛なこと、学業との両立ができそうであることに、好感をもちました。系列校への推薦枠があることも、将来への安心材料だと思います。
- ・様々な生徒の希望に対応できる環境が整っていると感じました。
- ・英語コースでは、海外からの留学生などもおり、英語に触れる機会の多さが魅力的でした。

知立高等学校

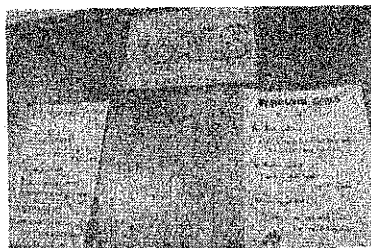
知立高校は、昨年度までは、「普通科」「総合ビジネス科」「情報処理科」（総ビと情報は一括募集）の3つの学科をもつ学校でしたが、今年度から「総合学科」に学科改編されたことで、一学年240名の6クラスの学校になりました。高浜からは、知立駅まで電車で行き、そこから歩いて15分ほどで通うことができます。

「総合学科」を簡単に説明すると、入学後に自分が学びたいことや進路希望に合わせて、自分の学びたいものを選び、勉強することができる学科です。この選択肢は同じ総合学科の学校でも内容が違い、それぞれ学校毎に特色があります。知立高校には、「総合ビジネス」「会計マネジメント」「情報テクノロジー」「人間文化」「国際理解」「サイエンス」「健康ライフ」の7つが用意されており、これまで特色（商業や情報の勉強ができること）も引き継ぐ形で残っています。なお、この選択は2年生からで、今はそのための環境の準備として、校舎の改装工事が行われています。

知立高校は、行事も盛んに行われています。体育祭や文化祭など、3学年合同の縦割りでブロック（1～3年の各1組が1つのチーム）をつくり、そのブロック対抗という形で1年間かけて競い合うそうです。また、ブロックミーティングと呼ばれる、準備や話し合いのための時間があります。見学当日もブロックミーティングが行われており、文化祭の出し物を考えるブロックや体育祭の応援の練習をするブロックなどがありました。

【保護者の感想】

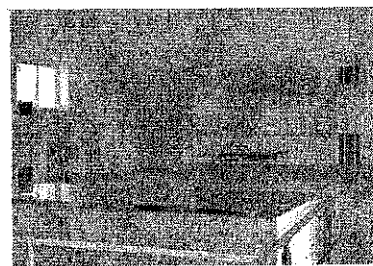
- ・地域とのつながりを大切にして、授業等に取り入れている点が、興味深いと思いました。
- ・普通科目、専門科目の両方から選択して系列を学べるのが、自分のいろいろな可能性を見つける機会になるので、将来のためにもとてもいいなと思いました。



〔英語コースの教室掲示〕



〔校長先生・教頭先生からの説明〕



〔改装中（調理室予定）の教室〕